

「チームシマエナガさん」より寄付いただきました

貞國 利夫*

このたび、釧路地方に数多く生息するシマエナガを題材とした商品（文具や菓子、書籍など）の企画・販売を行っている「チームシマエナガさん」（事務局：山一佐藤紙店）より、博物館に寄付をおこないたいとお申し出をいただき、7月5日に受納式をいたしました。

「チームシマエナガさん」は、売上げの一部を、自然保護や教育活動への寄付等により、地域貢献を目指しており、その最初の寄付先として博物館をお選びいただきました。

今回のご寄付では「シマエナガなど数多くの動植物が生息する『春採湖』について、市民はもとより市外・道外の方に情報発信され、その素晴らしさを一層広めさらなる魅力向上を期待している」とのことで、当館では春採湖に関する展示を行っている「夕日ラウンジ」（博物館4階）などで、このご厚意を活用したいと考えております。



寄付受納の様子
(左から佐藤公一郎氏、河瀬幸氏、教育長)

夕日ラウンジにおけるYouTubeの開設

貞國 利夫*

博物館の常設展示室は道東の自然と歴史を広く紹介しています。例えば、釧路湿原に生息する鳥類や両生類、昆虫や植物。釧路の海にすむ魚類や海棲哺乳類など。人文分野では、先史時代から現代までの、釧路の人々の暮らしぶりなど多岐にわたります。しかし、博物館のそばにある春採湖に関する展示はありませんでした。来館される方からも、春採湖の展示が欲しいとのご意見をいただいております。

そこで、2022（令和4）年5月より常設展示室4階の展望室をリニューアルし、太平洋へ沈む夕日をここから望められることから、愛称「夕日ラウンジ」として春採湖に関わる展示を始めました。



夕日ラウンジからのぞめる風景

写真や文字などのパネル展示を基本とし、季節やその時々々のトピックに合わせて、随時展示を変えることができるようになっています。

そして、同年の12月からはYouTubeによるライブ配信も開始しました。遠方及び閉館時間外に沈む夕日をみたいという声があったことから、試行錯誤の末実現に至りました。

上記のとおり、今回いただいたご寄付を活用しながら、今後も夕日ラウンジの改装作業を進めていき、来館者が楽しめるような展示をしていきたいと思っております。

※YouTubeのページは当館トップページのバナーか、右のQRコードから閲覧できます。



夕日を撮影する来館者